

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
「第1章 計画の策定にあたって」に関するもの			
1	北九州市基本構想・基本計画と各計画の位置づけがよく分からなかった。	本プランは北九州市基本構想・基本計画に基づく健康づくりの分野別計画の一つとして位置づけられます。北九州市基本計画に掲げる3つの主要政策(①「稼げるまち」の実現、②「彩りあるまち」の実現、③「安らぐまち」の実現)のうち、主に③「安らぐまち」の実現のため施策や事業を具体化し、実施していくこととしています。	①
2	国は、「文化芸術基本法」、「障害者文化芸術推進法」のとおり、「文化芸術」の語に統一しているのですが、本プランにおいても、芸術を含む幅広い「文化」という文脈であれば、「文化芸術」に揃えた方が良く考える。	「文化」を「文化芸術」に修正します。	② 最終案2頁
「第3章 計画の基本的な考え方」に関するもの			
3	現在策定中の各計画のビジョンや基本理念として掲げられている言葉の中に、それぞれの属性による特性はあるとしても、共通のキーワード等が設けられないのか。	現在策定中の各計画は、それぞれの分野を推進するために策定するものであり、分野が異なるため共通のキーワードなどを揃えることは難しいですが、北九州市基本構想・基本計画に掲げる3つの重点戦略の実現を目指し、各計画同じ方向に向けて進んでまいります。	④
4	都道府県別の平均寿命と健康寿命の昨年までのデータでは、いずれも喫煙率が低く、長年にわたりたばこ対策に取り組んできている自治体の健康寿命が長い結果となっている。禁煙推進と受動喫煙防止は、生涯の健康保持と健康寿命をのばすためにも極めて重要な施策となる。北九州市の喫煙率は、全国平均より高く、政令指定都市の中では、男性がワースト1位、女性がワースト2位、なので重点施策としてよろしく願います。	喫煙をやめたい人が禁煙できるよう、禁煙支援の取組みをしっかりと進めていくとともに、望まない受動喫煙が生じない社会環境の整備を図るため、引き続き受動喫煙防止対策にも取り組んでまいります。	③
5	健康課題③高血圧の中に「自分の血圧を知り…」とあるが、その方法として健康診断を受診する人を増やすのか、健康診断以外の場で血圧を知る機会を増やすのか、明記してほしい。	様々な方法があると思いますが、まずは健康診査の場合も含め、様々な血圧を測る機会を通じて自身の血圧を知っていただきたいと考えています。血圧を測る機会についての記述を追加します。	② 最終案22頁
6	〈3つの健康課題に対する行動目標〉が世代別に示されていて分かりやすいが、《高齢世代の認知症予防・介護予防》は3つの健康課題に入っていなかったため、その前に説明があると理解しやすいと思った。	ご意見を反映し、《高齢世代の認知症予防・介護予防》に関する説明の記述を追加するとともに、「市民の皆さまに取り組んでいただきたい内容(行動目標)」の表も修正します。	② 最終案25頁

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
7	〈3つの健康課題に対する行動目標〉の「高血圧」について、「治療を継続する」を入れてほしい。多くの方が、自覚症状がないので、治療を中断している。その結果、脳血管疾患等で要介護状態になる人が少なくないため。	市民ができる範囲で取り組めるように、まずは自分の血圧を知り、高血圧に繋がる生活習慣の改善を行い、治療が必要な方は適切な治療につながるよう行動目標を設定しています。ご意見は今後の参考にさせていただきます。	③
8	24ページの「高齢世代の認知症予防・介護予防」の中央の項目「朝からたんぱく質を摂る」と書いているが、高齢者で腎臓の悪い方が北九州市は多いので、「*注：腎臓の悪い方は、主治医に要相談」「*注：腎臓の悪い方は注意」等を入れた方がよいのではないかと考える。	市民の行動目標の実践にあたっては、持病のある方については注意が必要なものもありますが、すべての持病について記載することが難しいため、「できることから取り組む」ことをおすすめしています。ご意見は今後の参考にさせていただきます。	③
「第4章 計画の目標と施策・基本目標」個人の実践と健康状態の改善に関するもの			
9	就労世代は健康に対する関心が低い可能性がある一方で、運動や健（検）診へ行くための「時間がない」という、時間的制約が仕事、家庭、育児などにより考えられる。特に30代～40代は職場における管理職に就く年代でもあるため、休日の時間の過ごし方においても、自分自身の時間を確保しにくい実状が考えられる。 健（検）診への動機につながる取り組みとして、がんの1次スクリーニング検査を無料配布することや歯周病唾液検査を無料配布するなどの取り組みが必要ではないかと考える。	各種健（検）診への動機につながる取り組みとして、歯科・口腔保健においては令和5年度に北九州市内の30歳を対象に自宅で出来る歯周病リスク検査を行い、歯と口腔の健康づくりに取り組む重要性を啓発しています。また、がん検診については、日曜日検診の開催や、事前予約制による集団検診の実施、乳がん検診無料クーポン（40歳女性を対象）の配布を行うなど、就労世代の検診受診の動機づけとなる取り組みを進めてまいります。	③
10	「骨折」は骨粗しょう症検診および治療介入によって減少させることが可能であることがわかっている。骨粗しょう症検診受診率を上げて一次性骨折を予防すること、またすでに骨折のある高齢者の二次性骨折予防を確実に開始し地域で継続することによって骨折自体を減少させるため、「産・官・学」が協力してこの課題に取り組む素地が北九州市にはあると考える。「骨折による寝たきり予防 日本一の政令指定都市」をめざしての新しい取り組みを期待する。	骨粗しょう症検診の受診率向上は、未治療の骨粗しょう症患者の治療介入を促し、骨粗しょう症性骨折患者の減少、ひいては健康寿命の延伸につながるため、関係団体等と連携し、骨粗しょう症検診の普及啓発を行い、検診受診率の向上の取り組みを進めてまいります。	③

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
11	砂糖は中毒性があるため、なかなかやめられない。砂糖の摂取量を少なくするための指導は、病人を減らすために重要と考える。水分をしっかり取ることも重要。	健康づくりのための食生活及びその実践のポイントについての普及啓発や、健診結果に基づいた個人のライフスタイル及び食の嗜好を考慮した相談の実施などに取り組んでまいります。	③
12	健康に重要なこととして、腸内環境の向上があげられる。味噌汁は腸内環境にとっても良い。市民の腸内環境の向上を進めることも柱としてはいかがか。		③
13	階段を上ることが非常に心身を強くする。ウォーキングなどに階段の登り降りを追加すると良いと思う。さらに、自然の中を歩くトレッキングなども精神的な面からも非常に良いと思うので、それらを仲間作りからサポートする体制を整えたいと思う。	自分のライフスタイルに合った方法で体を動かすなどの健康づくりに取り組むことができるよう、多様な主体と連携・協働し、自然と体を動かしたくなる環境づくりを推進していきます。	③
14	足の悪い人は足がむくんでいる人が多いため、足のむくみを取るための対策を必ず行う必要がある。足が悪くなると一気に生活環境が悪化します。台湾では体に不調がでると足もみに行くそう。北九州市でも台湾足もみを市役所が率先して普及させてはいかがか。		③
15	30ページの「喫煙」のところの「主な取り組み」と「主な指標」の中には、慢性閉塞性肺疾患（COPD）関連の記載がない。「主な取り組み」として「慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知度の向上」を、「主な指標」として「20歳以上における慢性閉塞性肺疾患（COPD）の名前も内容も知っている者の割合」を入れるべきだと思う。	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の啓発については、主な取り組みの『禁煙支援』のなかで実施しているところです。慢性閉塞性肺疾患（COPD）認知度向上に関しては、プランの指標一覧に掲載しています。	①
16	「文化芸術」が市民のこころとからだを元気にし、人づくり、生きがいづくり、まちづくりなどに大きく寄与することは明らかだと思う。「文化芸術」については、「休養・こころ」に含まれているのではないかと推測されるが、『基本目標1 個人の行動と健康状態の改善』、『基本施策① 生活習慣の改善(リスクファクターの低減)』の中で項目立てをし、丁寧な言及をお願いする。	『基本目標1』、『基本施策①』では主に生活習慣病のリスク低減に向けた、生活習慣の改善について記述しています。「文化芸術」については『基本目標2』、『基本施策①』の中で、文化芸術活動を行う場に通うことも含め、人と人とのつながりを持ち、「その人らしい健康づくり」を推進する環境の整備を進めていきます。	③
17	計画の中に具体的に障害についての記載がなかったように思う。障害のある人の計画が障害者支援計画のみに分離されているように感じた。障害のある人は全世代に亘るので、高齢者・健康づくり・食育など、それぞれの計画に障害のある人のことについて明記して行かないと、障害は障害福祉課という縦割りの構図になるのではないかと、ある程度の方向性を明記するべきだと感じた。	本プランは、基本理念のとおり障害のある方も含めた全ての市民を対象としています。また、『基本目標1』、『基本施策③』の中で、身体的障害を抱えている人等も含め、「誰一人取り残さない」健康づくりに取り組むとしており、『基本目標2』、『基本施策①』にも「その人らしい健康づくりを推進」することとしており、趣旨を踏まえた記述をしています。	①

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
「第4章 計画の目標と施策・基本目標2 社会環境の質の向上」に関するもの			
18	<p>たくさんの取組みが行われていることを知らなかったため、もっと北九州市市民に広める必要があると感じた。特に若い世代からの意識の変化が必要だと考えるので、SNSやインターネットを活用した告知や小学校、中学校、高校での授業や講演の実施、若者に人気のインフルエンサーと連携した取り組みの周知や正しい知識の普及などから健康意識の高い若者を育成出来ればいいと感じた。</p>	<p>周知の方法を工夫したり、デジタルツールの活用や、企業との連携などにより、健康情報を入手できるインフラ整備、科学的根拠に基づく健康に関する情報を入手・活用できる基盤を構築できるよう努めてまいります。</p>	①
19	<p>プランの本編・概要版に加え、市民により知ってもらいたいものを、1枚物チラシなどにして啓発するのいいと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命「目指せ健康寿命政令指定都市No.1」 ・がん検診「がん検診を受診しましょう！」 ・脳卒中発症者で健診を受診していたのはわずか2割「健診を受診しましょう！」 ・運動「プラス10で健康寿命を延ばしましょう！」 <p>など</p>	<p>市民の皆さまに分かりやすい形で啓発するため、ご意見のような周知・啓発方法を工夫するなど、検討いたします。</p>	③
20	<p>たばこには、メンソールや香料など添加物が多く含まれ、肺深くまで吸わせ、依存性を強め、離脱を困難にしている。喫煙者にその危険性の周知啓発をお願いする。</p>	<p>たばこの害や危険性についての周知・啓発は、引き続き行ってまいります。また、ご意見を参考に、たばこ関連の対策を研究してまいります。</p>	③
21	<p>タバコの依存性を強め禁煙離脱を困難にしているメンソールなどの禁止が施策として必須なので我が国でも「タバコの添加物の法規制と監督機関の創設」を御地からも国へ要請いただきたい。</p>	<p>たばこの害や危険性についての周知・啓発は、引き続き行ってまいります。また、ご意見を参考に、たばこ関連の対策を研究してまいります。</p>	③
22	<p>喫煙者に禁煙を促し勧めるため、大阪市のような卒煙アプリの活用や、「禁煙治療の2/3助成」を自治体でも進めていただきたい。その禁煙治療の受診者数の数値目標を市でも設けてはどうか。</p>	<p>喫煙をやめたい人が禁煙できる環境を整備することは大切なことだと考えます。ご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>	③
23	<p>たばこ会社が「タバコハームリダクション」として、加熱式たばこ(ニコチン入り電子たばこを含む)を推奨する動きがある。これらのたばこの有害性は紙巻たばこに比べて決して少ないものではなく、数多くの添加物もあいまって依存に縛り付けるもので、万一にも与することのないようお願いする。</p>	<p>加熱式タバコを含む喫煙が健康に与えるリスクについては、科学的根拠(ビデンス)に基づき、正しい知識を普及に努めてまいります。</p>	③

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
24	<p>「受動喫煙の危害ゼロの施策」を一層進めるため、健康増進法の屋内での受動喫煙防止の規定を屋外にも広げるべきで、屋内だけでなく、屋外の公共的施設や、歩道（路上）、公園、子ども関連施設、屋外スポーツ施設、遊泳場、スキー場、レクリエーション施設、社寺仏閣などを含め、禁煙空間を広げていただきたい。（さいたま市や相模原市、横浜市など多くの市が公園禁煙化の施策を進めている）</p> <p>吸える場所を限りなくゼロに近づけていくことが、受動喫煙の危害防止だけでなく、喫煙者の禁煙を促し健康向上に大きく寄与することにもなる。</p>	<p>望まない受動喫煙が生じない社会環境の整備は重要です。国の動向や他都市の取組みを参考にし、受動喫煙対策に取り組んでまいります。</p>	③
25	<p>開放型の指定喫煙所が設置されているが、そもそも開放型は煙が漏れ出ざるを得ない。公費を使わなくとも、民間の有料の喫煙所があるので民間に任せれば良いし、経過措置としてもし期間限定で設けるとしても密閉式の漏れない構造のものが不可欠である。また、中に禁煙の勧めや禁煙治療の広報など貼るなどをお願いする。</p>		③
26	<p>兵庫県条例のように、子どものいる場所や傍での喫煙・タバコをやめるルール作りの推進をお願いしたい。</p>	<p>本市では「北九州市公共の場所における喫煙の防止に関する条例」を制定し、公共の場所での喫煙をしないよう努めなければならない等を定めています。引き続き、望まない受動喫煙が生じることのないよう、受動喫煙対策に取り組んでまいります。</p>	③
27	<p>2024年の5/31世界禁煙デーと禁煙週間の機会に、イエローグリーンのライトアップ（公共的なタワーや役所、公共施設、保健医療機関などを含め）による「受動喫煙防止の徹底化」を全国各地で広げる啓発を推進しているので、御地でもご協力・連携をお願いする。</p>	<p>受動喫煙防止対策の普及・啓発活動の一環として、今後の参考とさせていただきます。</p>	③
28	<p>『基本目標2 社会環境の質の向上』、『基本施策① 社会とのつながり・こころの健康の維持・向上』に、『文化芸術』について、書き加えていただきたい。合唱サークルや伝統文化活動に参加することにより元気を保っている年長者も多いと思う。</p>	<p>『基本目標2』、『基本施策①』の中で、文化芸術活動を行う場に通うことも含め、人と人とのつながりを持ち、「その人らしい健康づくり」を推進する環境の整備を進めていくこととしており、趣旨を踏まえた記述をしています。</p>	①
29	<p>団塊の世代の人口が多いなか、市民センターで何らかの活動に参加している市民が少なく、また、活動されている方も校区の市民に偏りがあるように感じる。</p> <p>まちづくり協議会、自治会、市民センター館長は、健康づくり推進員・食生活改善推進員の支援を得ながら、市民センターにて市民が市民センターの事業等で楽しく活動すれば、市民センターの活性化にもなりその対価として市民の健康寿命が長くなるのではないかと考える。</p> <p>市民センターの利用効果をPRとして加えてはどうか。</p>	<p>地域でGO!GO!健康づくり事業では、市民センターなどで、住民が主体的に健康づくりの取組みを行っています。このような取組みの成果も含め、市民センターの利用効果のPRも進めてまいります。</p>	③

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
30	<p>「基本目標2」社会環境の質の向上で基本施策について、無関心層を取り込むことを挙げている。私ども「健康づくり推進員の会」はいかにして無関心層に健康寿命と平均寿命の違いをよく理解してもらい、その差を縮める必要性などを知ってもらうことに腐心している。</p> <p>現在、会員は640名程度で活動してるが、その会員になるためのハードルはかなり高い。養成研修は必要だが必要最低限のカリキュラムのみを学び、後はOJTで実践形式で対応する。本会は設立後24年になるが市民に対する認知度はそれ程高くはない。養成研修の在り方を見直す時期に来ていると思う。</p>	<p>健康づくり推進員の皆様には地域における健康づくり、介護予防を推進するリーダーとして、地域に根ざした活動を行っていただき、感謝申し上げます。</p> <p>健康づくり推進員養成研修のあり方や活動の環境づくりについては、今後も健康づくり推進員の皆様のご意見を伺いながら検討を進めてまいります。</p>	③
31	<p>健康づくり推進員の活動拠点は市民センターであるが活動するための環境づくりが必要。まちづくり協議会の中に各部会があるが必ず「健康づくり推進員」を入れて欲しい。会員になっても活動の場がなくては意味がない。そのあたりが認知度の低さにつながっているのではないかと。館長やまち協会長にもこれは周知徹底して欲しい。館長の関わり方についてもかなり温度差を感じる。第三次健康づくり推進プランで大目標として上がっているからには、それを担っていると思われる「健康づくり推進員の会」をひろめたい。</p>	<p>健康づくり推進員の皆様には地域における健康づくり、介護予防を推進するリーダーとして、地域に根ざした活動を行っていただき、感謝申し上げます。</p> <p>健康づくり推進員養成研修のあり方や活動の環境づくりについては、今後も健康づくり推進員の皆様のご意見を伺いながら検討を進めてまいります。</p>	③
32	<p>競輪、競馬、競艇等のギャンブルが揃っている北九州市において、ギャンブル依存症の問題は、年齢を問わず深刻な問題となっている。ギャンブル欲求を上手く利用し、矛先を健康づくりに向けられるような、北九州市オリジナルの健康づくりプランを提案する。</p> <p>本格的で魅力のあるギャンブル施設を設立し、ギャンブル依存症やゲーム依存症の人たちの健全なる通いの場を提供。①健康づくりやボランティアを行い、コインを稼ぐ→②コインで遊戯(①⇄②の循環)。また、施設で食堂を完備し、パランスのとれた食事を提供など。</p>	<p>『基本目標2』『基本施策② 自然に健康になれる環境づくり』においては、他分野の取組みに健康づくりの要素をワンプラスすることで、健康づくりに資する活動を促す環境の整備を、さらに進めていくこととしています。</p> <p>様々な部局とも連携し、健康づくりの効果的な進め方について検討してまいります。</p>	③
<p>「第4章 計画の目標と施策 ・ 基本目標3 ライフコースアプローチ」に関するもの</p>			
33	<p>労働者の健康管理などを行うのは産業医であるが、産業医における女性の健康支援の充実を図る必要がある。労働者の「性差」による特性に応じた健康管理などへの指導ができることは必要である。</p>	<p>本プランの強化ターゲットとして「就労世代」を掲げ、新たに地域と職域の連携推進に取り組むこととしています。その中で、女性の健康支援の充実などについても検討してまいります。</p>	③
34	<p>トピックス19「女性の健康づくり」に賛同する。女性の社会進出が増え、仕事のパフォーマンスに影響するほどの心身のトラブルに対する健康支援をしている企業も多いと思うが、まだ言い出しにくいというのが現状だと思う。このような現状を変える取組みは、もっと行われるべきだと思う。</p>	<p>本プランの強化ターゲットとして「就労世代」を掲げ、新たに地域と職域の連携推進に取り組むこととしています。その中で、女性の健康支援の充実などについても検討してまいります。</p>	①

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
35	妊娠や出産による身体的変化や精神的変化は多大なものである。妊産婦の身体的・精神的なサポートとして看護師や助産師、保健師の健康指導などはあるものの、身体的・精神的変化に対する運動指導や、姿勢矯正指導などが十分とは言えず、妊娠中や出産後の腰痛、肩痛、尿失禁や臓器脱などへの対策が必要となる。妊娠前からの妊娠中や出産後の健康支援として、運動指導や姿勢矯正指導なども充実させる必要があると考える。	妊産婦の身体的・精神的変化に対する運動指導などは大切です。更なる健康支援として、今後の参考とさせていただきます。	③
36	子どもの低緊張は、運動への影響があり、結果的に肥満につながる考えられるため、子どもの成長に関する関わりとして、運動を行うために足部での荷重支持や荷重移動を良好に保つための靴やフットケアへの取組みは欠かせない。低緊張による肥満対策への取組みとして、保育園、幼稚園、小学校、中学校と子どもの成長に応じた靴やフットケアへの取組みを教育現場に取り入れていくこと、また保護者や子ども自身への教育にも取り入れていく必要があると考える。	幼少期から適切な方法で運動やスポーツを楽しく行うことはとても大切です。更なる健康支援として、今後の参考とさせていただきます。	③
「第5章 歯・口腔の健康づくり(歯科口腔保健推進計画)」に関するもの			
37	小学校ではフッ化物洗口というむし歯予防を実施しているが、それよりも、歯のメンテナンス等に定期的に歯医者に通う習慣をつけたほうが将来的に良いのではないかと。今はフッ化物洗口のおかげでむし歯になりにくいとしても、大人になったときに歯磨きや歯科受診の習慣がないのでは意味がないと思う。たとえば、「役所から家庭に歯科受診のクーポン券と歯科受診の必要性を促す内容のパンフレットが配られる」とか「乳幼児期からのブラッシング指導や歯科親子教室を行う」など。	生涯にわたる歯・口腔の適切な生活習慣の定着を促すため、各種歯科健(検)診の実施や各区役所におけるマタニティ教室、乳幼児個別相談などでの歯科保健指導・啓発を実施しています。また、歯科衛生士等の専門職が小学校や保育所、子ども食堂において歯みがき指導・啓発も行っています。フッ化物洗口と歯科口腔の指導・啓発を併せて行うことで、より効果的な切れ目のない支援を実施してまいります。	①
38	学校は健康教育を行うという側面もあるが、ボランティアを使って学校でフッ化物洗口を実施するのは感覚として少し違うのではないかと思います。学校なら、教員ならコストがかからずに行えるということではなく、子どもにお金をかけて、定期的な歯科受診等に力を入れてもらう方が予防歯科的な意味があると思う。何か始めるならばきちんとした人員・スタッフを配置して始めていただきたいと感じている。	フッ化物洗口を実施するにあたり、多大な調整やご協力をいただき、誠にありがとうございます。学校でのフッ化物洗口は全児童のむし歯を予防する効果的な取組みであり、「健康格差の縮小」を図ることができると併せ、今後も実施していきたいと考えています。	③

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
39	<p>学齢期・青年期に関して、施策の方向性にて小学校と特別支援学校小学部でのフッ化物洗口の記載はありますが、中学校や高校での取り組みに関する記載がない。特に、う蝕罹患率が増加する中学校に対する取り組みは重要だと考えられる。</p> <p>学校における歯と口の健康づくり推進計画にて具体的取り組みとして、今後推進する中学校でのフッ化物洗口は記載した方がよいのではないかと考える。</p>	<p>教育委員会の「学校における歯と口の健康づくり推進計画」に基づき、令和5年度から小学校全校でのフッ化物洗口を開始し、事業の定着に向けて取り組んでいます。中学校でのフッ化物洗口については、現時点で、健康づくり推進プランに具体的記載はありませんが、今後、関係者や専門家の意見をいただき、検討を進めていきたいと考えています。</p>	③
40	<p>フッ素塗布はフッ素が有害な物質であること、短期的に歯に良いとされるが、長期的には身体や脳に悪影響を及ぼすという意見があることから、地方自治体が積極的に使用するべきでないと考える。</p>	<p>フッ素は自然界に広く存在し、毎日食べるものにも含まれています。また、フッ素には優れたむし歯予防効果があり、生活の中でフッ化物を利用することで、効果的にむし歯が予防できます。</p> <p>フッ化物を使ったむし歯予防の方法にはいくつか種類がありますが、いずれも有効性と安全性が確認されており、長年、世界中で利用されています。</p>	④
41	<p>朝起きてすぐの歯磨きの励行が記述されていない。朝起きてすぐの口の中は細菌でいっぱいであり、そのまま食事すると誤嚥性肺炎をおこしやすくなると感染症専門の医師から指導を受けたことがある。歯科医だけでなく、内科医(感染症専門医)の意見も参考にすることで、総合的な観点から予防できるのではないかと考える。</p>	<p>本プランの策定には歯科医師だけでなく医師も関わっており、総合的に策定しております。多職種・多機関と連携して健康寿命の延伸に向け取り組んでまいります。</p>	③
42	<p>歯・口腔の健康づくりに力を入れていくことが分かった。歯医者に行く習慣が高校卒業後からない人も多くいるため、年に1度以上は歯医者に行く習慣をつけてもらうことが必要だと感じた。この施策を多くの方に知ってもらうことが重要となるため、宣伝・広告などにより力を入れることが大切だと感じた。</p>	<p>市民の皆さまが、適切な生活習慣を確立・定着・継続していただくことができるよう、周知の方法を工夫したり、デジタルツールの活用や、企業との連携などにより、正しい知識の普及・啓発に努めます。</p>	③
「指標」に関するもの			
43	<p>国が策定した健康増進計画「健康日本21(第三次)」では、引き続きCOPDの認知度の向上を行うことに加え、「COPDの年齢調整死亡率(人口10万人あたり)」の減少を掲げている。北九州市においても、国が掲げた目標に準じて「年齢調整死亡率の減少」を目指すべきだと考える。</p>	<p>「COPDの年齢調整死亡率(人口10万人あたり)」は、大切な指標であることは承知していますが、北九州市においてはCOPDが未だ十分に認知されていない状態であるため、本プランにおいては、まずは認知度の向上を図る取り組みを行っていくこととしています。</p> <p>ご意見を参考に今後の取組を検討してまいります。</p>	③
44	<p>59ページの「健康づくりや介護予防のために取り組んでいること」のアンケートについては、設問の際に、「文化芸術やスポーツを含んで」などの説明書きはあるのか。具体的な事例を示さないと、個々人の考え方で回答が変わってくる。</p>	<p>令和4年度に実施した「令和4年度北九州市高齢者等実態調査」における「健康づくりや介護予防のために取り組んでいること」の設問では、高齢者の皆様の具体的な取組み(生活習慣面・運動・外出・社会参加等)として回答が予想される具体的な事例(11項目)を示すほか、「その他」で自由に記載いただけるようにしています。</p>	③

「(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン」に対する市民意見の概要及び本市の考え方

- 【意見の反映結果】
- ① プランに掲載済み
 - ② プランに追加・修正あり
 - ③ 今後の参考とするもの
 - ④ プランに追加・修正なし
 - ⑤ その他

No.	意見の概要	本市の考え方	反映結果
「事業内容」に関するもの			
45	<p>関連事業『基本目標1 生活習慣の改善(リスクファクターの低減)』、『基本施策② 生活習慣病の発症予防及び重症化予防の更なる推進』に各種健(検)診が記載されているが、北九州市は人口構成が変化しており、後期高齢者が増えてきており、「後期高齢者健診」も発症予防や重症化予防に必要不可欠な健診のため、入れてほしい。</p> <p>また、『基本目標3 ライフコースアプローチをふまえた健康づくり』、『高齢者』にも高齢者関係なので、「後期高齢者健診」を入れた方がよいのではないかと。</p>	<p>『基本目標①』、『基本施策②』では、後期高齢者健診についても、必要不可欠な各種健(検)診のひとつとして含まれています。</p> <p>後期高齢者健診の受診勧奨及び保健指導は「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」の中で実施しているため、『基本目標3』の[主な取組み]欄に、後期高齢者健診の内容を盛り込むよう修正します。</p>	② 最終案 40頁
その他			
46	<p>広く一般市民向けというよりも、専門的な知識を持った方向けのような感じがした。平易な語句を意識して使用していただけたらと思う。</p>	<p>分かりやすい説明を心がけてまいります。</p>	③

